



橋 戸

令和5年2月28日
学校だより 第11号
練馬区立橋戸小学校
校長 青木 俊哉

万が一に備える

校長 青木 俊哉

いつ襲ってくるか分からない巨大地震。3週間前にトルコ・シリア国境付近で起きた大きな地震のニュースは、今も日本まで届き、被害の報せに心が痛みます。地震国である日本に暮らす私たちにとっても他人事ではありません。この30年、阪神淡路、東日本、熊本…と大きな地震は続いており、南関東にも今後30年程の間にM7クラスの地震が起きる可能性は高いと言われます。被災時に向け、地域と学校、行政が一体となり、準備や対応を進める必要があります。

大きな災害が起きた時、学校は避難所となります。練馬区では、そのための組織として、校区ごとに避難拠点運営連絡会を設置し、対応を進めてきています。コロナ禍、町会の活動も従来通りには進められず、またたくさんの人にご参加いただく行事の実施が難しくなったこともあり、しばらく動きが止まっておりましたが、今年度は9月の一斉防災訓練の日に、関係者が学校に集まり、今後に向けての相談や学校に備蓄されている様々な機器の確認を行うことから始めました。その後も打ち合わせを重ね、実際の訓練を2月17日に実施しました。その様子を、簡単にお知らせします。

☆橋戸小避難拠点・防災訓練（令和5年2月18日） 約50人参加

実際に災害が起き、学校を避難所として開設する流れを、具体的な作業を通して確認しました。

- ① 避難者受け入れ態勢の準備…受付の設置、検温や健康状態の確認、名簿への記入、次の場所への案内等。
- ② 炊き出しに向けた資器材の確認・準備…備蓄倉庫から必要な物品の運搬、発電機やバーナーの設置準備等。
- ③ 炊き出しの実地訓練…実際に発電機やバーナーを使い、お湯を沸かし、アルファ化米を炊く。
- ④ 災害状況の学習…災害時の様子をまとめた動画を鑑賞し、被害の大きさや被災時の留意点などを確認する。



上記内容を約2時間かけて行いました。今回は練馬区区民防災課の方々のご指導があり、スムーズにいきましたが、実際には、誰が真っ先に駆け付けられるかわかりません。練馬区避難拠点要員(箕島班長以下8名)、避難拠点運営連絡会の方々(岩城会長以下町会や地域の防災担当者の皆様)、本校の教職員も含め、誰が対応しても同じ動きができるよう、引き続き訓練に努める必要があります。さらに対象を広げ、規模を拡大することで、実際に被災した時の状況に近付ける(子供の参加なども…)ことも検討する価値があります。“いざという時に困らない”ため、“万が一に備える”意味で、今回の訓練の状況を知っていただくとともに、今後の訓練へのご協力やご参加をお願いいたします。

今年度最終号を迎えました。皆様のご理解とご協力、様々な場でのご支援に、心より感謝と御礼を申し上げます。

2月の教育活動など

日ごとに太陽が顔を出している時間が伸び、春が来ていることを感じる日々です。今年度の教育活動も残すところ一か月となりました。2月の教育活動をご紹介します。

〈3年生：社会科見学〉



1月26日（木）に社会科見学がありました。3年生にとっては初めての社会科見学です。練馬区役所・練馬区美術館・石神井ふるさと文化館の3カ所を見学しました。3年生の社会科の学習では、主に練馬区内のことについて学びを深めてきました。そのまとめとしての見学ということで、子供たちはとても楽しみにしていました。

当日は、すっきりとした冬晴れで、練馬区役所の展望ロビーからは富士山や東京スカイツリーがきれいに見えました。練馬立美術館では、美術館所蔵の絵画をオマージュした作品を鑑賞しました。石神井公園にバスで移動後にお昼を食べてから、石神井ふるさと文化館へ行きました。石神井ふるさと文化館では、昔の道具の見学や古民家の見学をしました。今の暮らしとの違いを、実際のものを見ることで学ぶことができました。

〈3年生と2年生の交流会〉

2年生は生活科、3年生は総合的な学習の時間で学習したことを生かして、2月7日（火）に、はがき作りの体験を通して交流をしました。「パルプを溶かして型に流し込み、乾かしてはがきにする」というものです。薄いお花紙を一緒に溶かして色を付けたり、型に流した後にお花紙で模様をつけたりして、思い思いのはがきを作りました。昨年体験した3年生が2年生に丁寧に教え、きれいに仕上がったとき、子児童は大変喜んでいました。こうした体験的な学習を通じた交流は、橋戸小学校の伝統にしていきたいと考えております。



〈1年生と2年生の交流会〉



2年生は、1組は2月8日（水）、2組は9日（木）に、生活科「作ってためして」のまとめの学習と学級活動での学級会を組み合わせ企画した「おもちゃランド」を開き、1年生を招待しました。この日に向けて、身の回りの物でおもちゃを作り、学級会で話し合いながら改良を重ねてきました。また、1年生に楽しく遊んでもらうための工夫もいろいろと考えました。当日は、1年生に遊び方を優しく教えて楽しく盛り上げ、「1年生が喜んでいる姿を見て、自分もうれしかった。」という振り返る姿も見られ、2年生児童の成長を感じました。

〈6年生を送る会・レインボー班遊び〉

1～5年児童が協力して作成した装飾で体育館が彩られ、素敵なホールになりました。そこで1～5年児童は、日頃お世話になった6年生に感謝の気持ちを込めて歌や音楽、言葉のプレゼントをしました。

1年生は、日頃の異学年交流でお世話になったレインボー班ごと、自分たちで作った花束を一人一人手渡しし、「ありがとうの花」を、体を揺らして歌い感謝を表現しました。

2年生は、6年生が1年生のときからそれぞれの年に流行した出来事を基に6年間を振り返りました。当時の懐かしい歌や言葉で感謝を表現しました。

3年生は、6年生児童一人一人の似顔絵を描いて登場です。「誰にだってお誕生日」の歌に合わせて、各月生まれの名前を似顔絵を示して「〇〇さん」と呼名すると、6年生が笑顔で元気よく返事をしました。元気印の3年生は体一杯感謝を表現しました。

4年生は、6年生が3年生のときに学芸会で演じた「孫悟空」の衣装で登場です。劇の一部を演技と歌で表現し、6年間の音楽会や学芸会、運動会での表現を発表しました。6年生児童の力強さを見習って「ソーラン節」を披露することで感謝を表現しました。

5年生は、学校生活の劇とクイズで感謝を表現しました。低学年は遠足の思い出、中学年は運動会の思い出、高学年は移動教室の思い出を劇とクイズで表現してプレゼントしました。6年生は楽しく、そして懐かしく思い出に浸っていました。

そして、6年生は各学年のプレゼントのお礼として、まず1～5年生児童に向けて、今年度の学芸会での思い出の名場面を演じることで感謝を表現しました。次に、合奏「パイレーツオブカリビアン」より「彼こそが海賊」を、心、音、息を合わせて奏で、表現しました。全員が指揮者を見て勇ましく演奏する姿はいつもながら圧巻でした。

最後に校旗の引継ぎです。し～んとした中、橋戸小学校のシンボルである校旗が6年生から5年生に引き継がれ、昼休みは、これから学校をリードしていく5年生が班長となり、6年生と最後のレインボー班遊びをしました。2月17日（金）は、大変有意義な一日でした。



〈なわとび集会〉



冬の体力強化月間の取組として、1月30日（月）～2月10日（金）まで、なわとび週間を設定しました。その期間の朝、火曜日と木曜日を1, 3, 5年生、2, 4, 6年生に分け、校庭に一堂が集合し、決まった時間内で自分の技を磨きました。



〈ご連絡〉

令和5年4月1日「個人情報の保護に関する法律」が改正・施行されます。学校では、年度当初に作成する「学級編成名簿」を始め、児童の氏名やその他の情報を扱う場面があります。本法律の趣旨に基づき、学校が扱う個人情報が外部に流出することのないよう管理に努めてまいりますので、ご了解いただきますよう、お願いいたします。ご了解いただけない場合には、今年度中に学校までお知らせください。不同意の場合には、「当該児童の氏名のみ空欄にして名簿等を作成する」こととなりますので、ご了解ください。なお、学校が管理する情報につきましては、保護者の皆様の同意なく外部団体等に渡すことはありません。